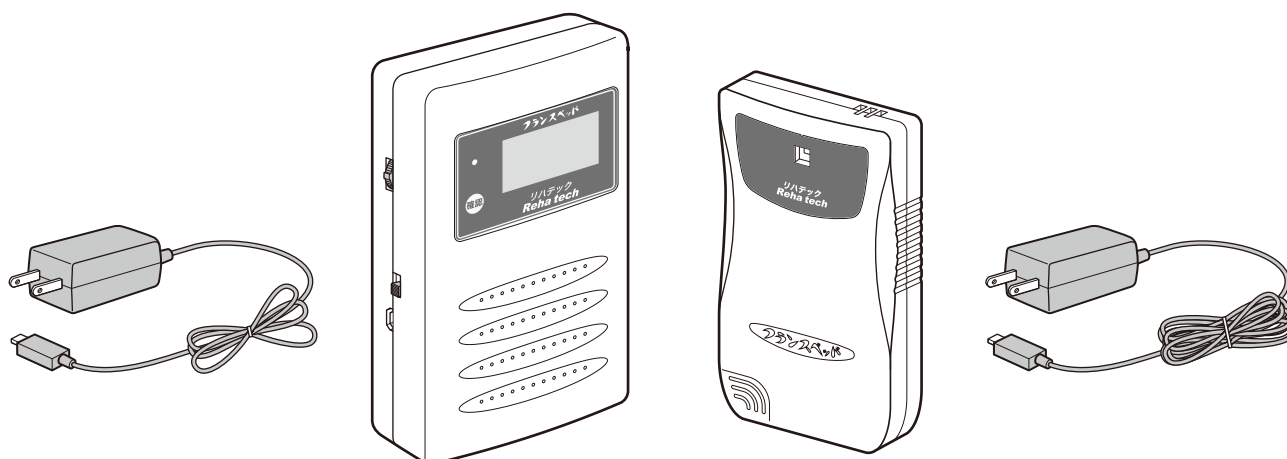


非接触型離床センサー

温度 de キヤッチ

取扱説明書

保管用
保証書添付



- このたびは、本製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
- 安全のため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、いつでも取り出せるように、大切に保管してください。

【目次】

安全のために必ずお守りください	1	お手入れの方法	12
各部のなまえ	4	定格	12
設置方法	5	こんなときには	13
受信機の設定方法	7	アフターサービス	14
使用方法	11	お客様相談室	裏表紙
保管の方法	12	保証書	裏表紙

安全のために必ずお守りください

この取扱説明書および製品の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するために、下記の区分や図記号で表示しています。

その指示と内容は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

区 分	 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、『人が死亡または重傷を負う可能性』が想定される内容です。
	 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、『人が傷害を負う可能性』および『物的損害のみの発生』が想定される内容です。
図記号の例		○ 記号は、『禁止の行為であること』を示しています。 (左図の場合は分解禁止)
		● 記号は、『行為の強制や指示する内容』を示しています。 (左図の場合はACアダプタ、電源プラグをコンセントから抜く)

 警告		
植込型医療機器を装着されている方で、体調に何らかの変化があると感じた場合には、担当の医師に相談する。 事故や体調不良を起こす原因になります。	 医師に相談	
AC100V、50／60Hz 以外の電源では使用しない。 火災や感電の原因になります。電源は家庭用100Vコンセントを使用してください。		
コード類や AC アダプタ、電源プラグが傷んでいたり、熱くなったりした場合やコンセントの差し込みが緩いときは使用しない。 感電やショート、発火の原因になります。	 禁 止	
AC アダプタのコード類を傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、熱器具に近づけて使用したりしない。また、重いものを載せたり、挟み込んだりしない。 感電やショート、発火の原因になります。		
ぬれた手で AC アダプタを抜き差ししたり、本体ユニットや受信機を操作したりしない。 感電や故障の原因になります。	 ぬれ手禁止	
分解や修理、改造はしない。 発火や異常動作を起こし、火災や感電、けがの原因になります。修理は『お買い上げの販売店』または弊社営業所にご依頼ください。	  分解禁止	

 注意	
使用前に正常に作動することを確認する。また、しばらく使用していなかったあとに使用するときは、正常かつ安全に作動することを確認する。 事故やけが、故障の原因になります。	
	 使用前確認

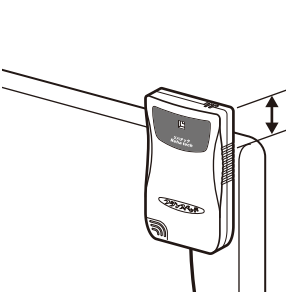
⚠ 注意

本体ユニットを取り付けるベッドは水平な場所に設置し、ベッド近くに熱源となるものを置かない。 誤報で受信機が鳴る可能性があります。	 注 意	
本体ユニットの正面に直射日光や暖房等の熱源がないように設置する。 誤報で受信機が鳴る可能性があります。		
本体ユニットにエアコンの風が直接あたらないようにする。風向と風量に注意する。 熱に反応し誤報で受信機が鳴る可能性があります。		
本体ユニットに布団がかからないようにする。 センサーが反応しなくなる可能性があります。		
AC アダプタは確実に最後まで差し込む。 ピンやほこり、水分などが付着し、火災や感電の原因になります。	 アダプタ、プラグ 取扱注意	
本製品を長期間使用しない場合は、受信機の電源をオフにし、本体ユニット、受信機それぞれの AC アダプタをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電、漏電火災の原因になります。		
故障が発見された場合や、異常のある場合には直ちに使用を中止し、AC アダプタをコンセントから抜く。 感電や漏電、ショートなどによる火災の原因になります。 修理は『お買い上げの販売店』または弊社営業所にご依頼ください。	 アダプタを抜く	
お手入れの際は、必ず AC アダプタをコンセントから抜く。 感電や誤って動作させて誤報で受信機が鳴る可能性があります。		
本体ユニットの取付側の脚側にサイドレールや介助バーは使用しない。 本体ユニットにぶつかって故障の原因となります。	 禁 止	
屋外では使用しない。また高温、多湿になる場所では使用しない。 故障の原因になります。		
AC アダプタやコード類を抜くときは、アダプタ部やプラグを持って引き抜くなどして接続部に無理な力をかけない。 感電やショート、発火の原因になります。		

⚠ 注意

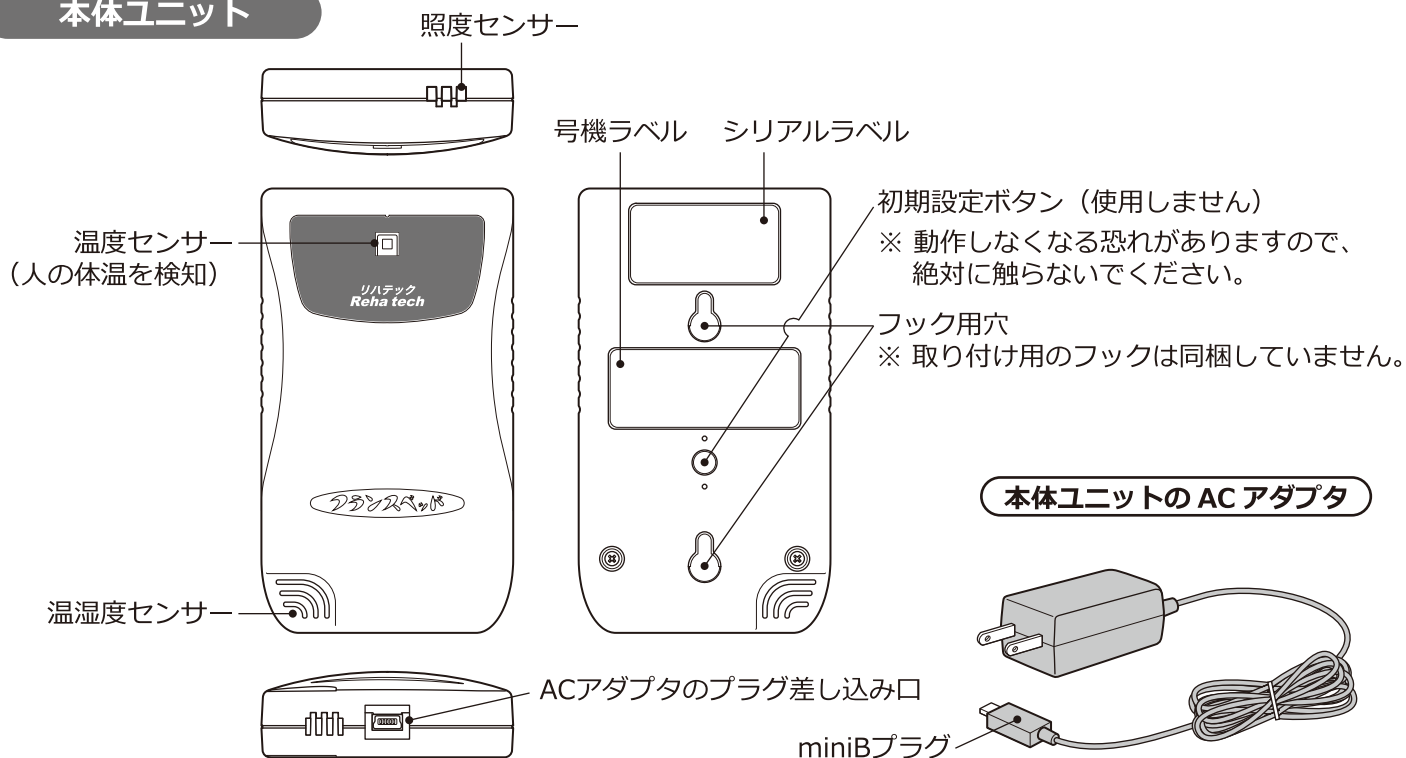
機器の周辺（約 1m 程度）に他の通信機を置かない。 本製品は、複数の電波を利用しています。他の電子機器がある場合、通信が不安定になることがありますので、ご注意ください。	
付属の AC アダプタ以外を使用しない。本体ユニット用、受信機用の AC アダプタを間違えて使用しない。 故障の原因になります。	
本体ユニットや受信機を落したり、上に乗ったり、乱暴に扱わない。 故障の原因になります。	 禁 止
受信機に磁気カード、磁気テープ、プリペイドカード等の磁気記録媒体を近づけない。 スピーカー部のマグネットの磁気の影響で、記録媒体の記録が破壊されることがあります。	
受信機に携帯電話、電波時計、ブラウン管、各種再生プレーヤー等の電子機器・通信機器・映像機器を近づけない。 スピーカー部のマグネットの磁気の影響で、正常な動作が妨げられたり、故障したりする可能性があります。	
浴室など湿度の高い場所では使用しない。 感電や故障の原因になります。	 浴室など水場での使用禁止
本体ユニット、受信機を水などでぬらさない。 感電やショート、発火の原因になります。	 水ぬれ禁止

重要なお知らせ

高齢者の方がつたい歩きする際に、フットボードに取り付けた本体ユニットをつかむことがあります。 本体ユニットの上辺をフットボード上辺よりはみ出して設置した場合、本体ユニットをつかむと本体ユニットに過度な力が加わり、事故や破損の恐れがあるため注意が必要です。	 はみ出した場合は 注意が必要
本製品は離床センサーとして使用するものであり、事故・ケガを直接的に防止するものではありません。 万一発生した人身事故、災害事故、盗難事故などによる損害については、責任を負いかねます。	
本体ユニット、受信機は電波法による総務省の技術基準に適合した製品です（㊞ 証明マーク本体貼付）。 日本国内での使用のみ認められています。また、製品内の無線回路を改造して使用すると法律により罰せられます。	

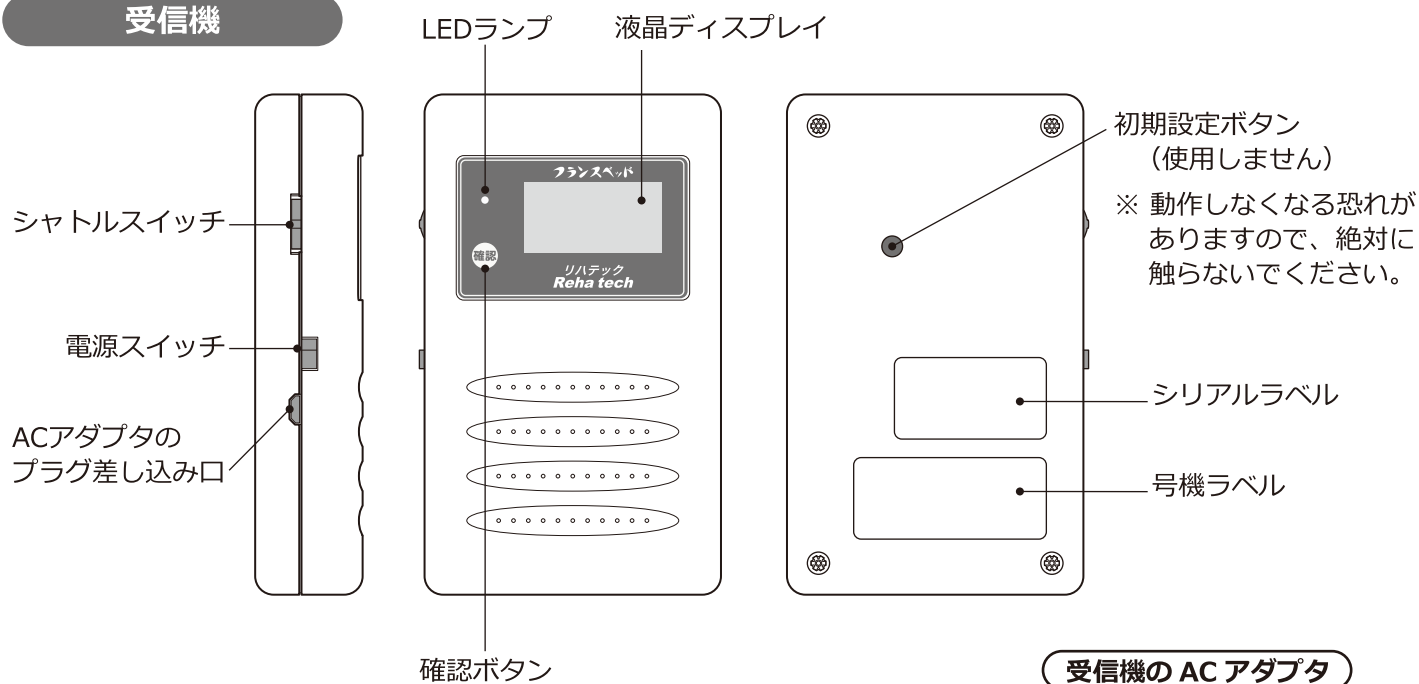
各部のなまえ

本体ユニット



原理：本体ユニットの温度センサーで人の体温を検知します。温度センサーは円錐状に広がり、離床と着床を識別することができます。ベッドに取り付けた側の離床と着床を識別できます。両側で識別したい場合はもう一台追加します。

受信機



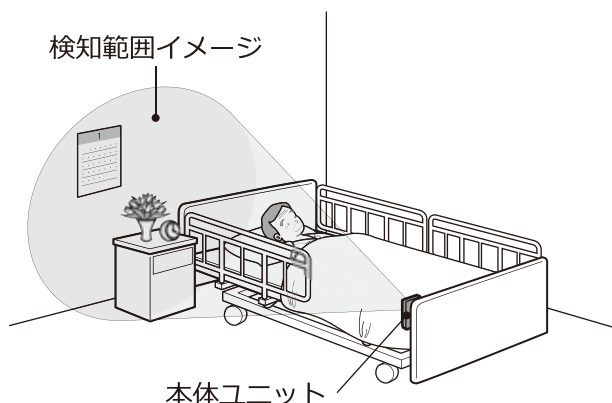
設置方法

適切な設置環境

温度センサーに写る背景の温度が均一でないと正しく人体の温度が検知できず、誤報の原因となります。
また、温度センサーの検知範囲にご使用者様以外の方がいる場合、温度センサーが反応してしまい、誤報の原因となります。

設置するときは、ベッドの頭側を窓などのない壁に向け、温度センサーの検知範囲を人が通過しないようにベッドを設置してください。

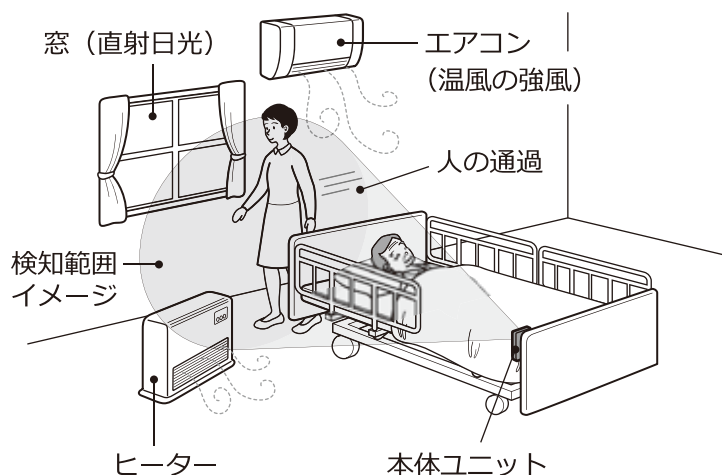
正しい設置例



◆ 下記のようなものには反応しません

- ・ タンス、椅子など熱源を持たないもの
- ・ 布団や掛け布などの生地
- ・ ベッド内の寝返りや体動
- ・ 直射日光の差し込まない窓（暖かにならない窓）

センサーが反応するもの



本体ユニットの設置

1. 本体ユニットに AC アダプタの miniB プラグを差し込む

本体ユニットの底面に AC アダプタの miniB プラグを差し込んでください。

AC アダプタをコンセントにはまだ差し込まないでください。

⚠ 注意

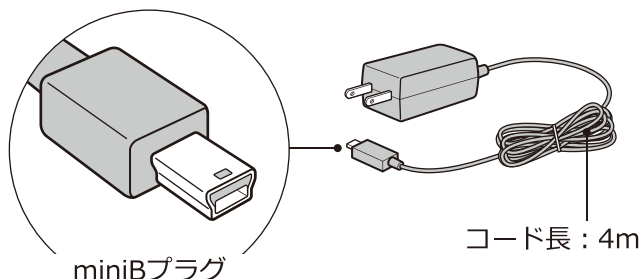
プラグは向きに注意し、無理に差し込もうとしたり、差し込んだ状態で力を加えたりしない。
プラグ破損の原因になります。



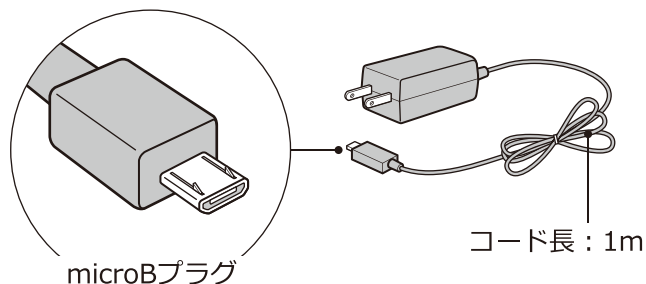
禁 止

※ 本体ユニット用と受信機用でプラグ形状が違いますので、間違えないようご注意ください。

本体ユニットの AC アダプタ



受信機の AC アダプタ



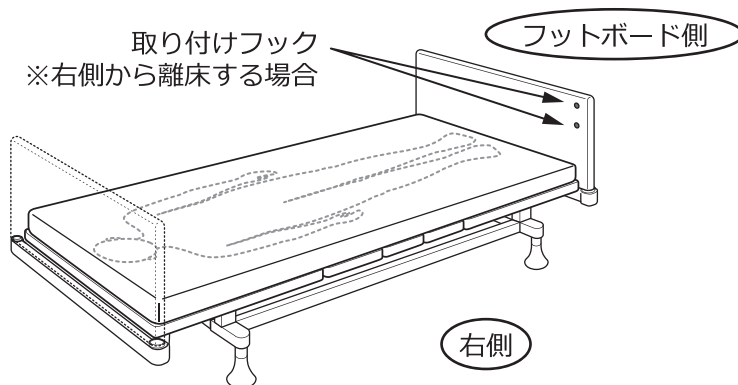
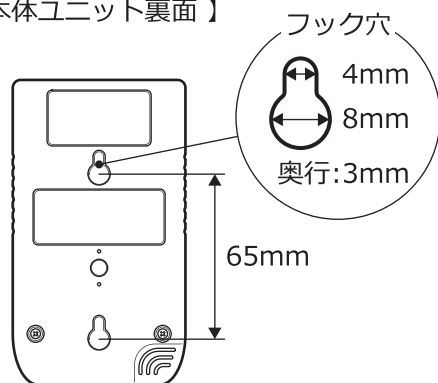
2. ベッドのフットボードに本体ユニットを取り付けるためのフックを取り付ける

あらかじめフックをご準備ください。

本体ユニットにあるフック穴に合わせて、フットボードの左右いずれか（ご使用者様が離床する側）にフックを取り付けてください。

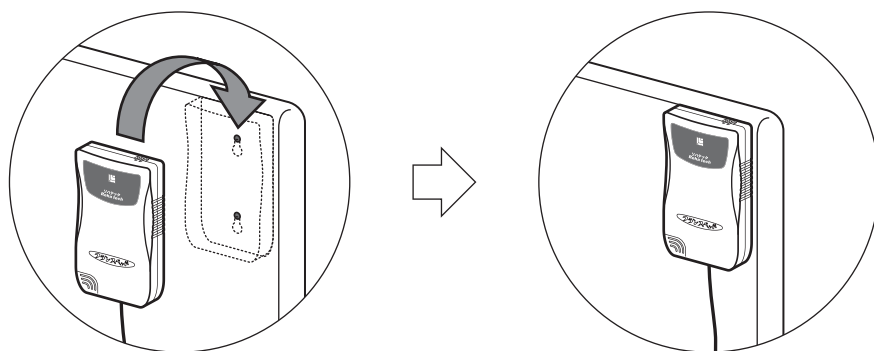
※ 別売の『非接触型離床センサー用ブラケット』または市販のフックを使用することができます（下図のフック穴の条件に合うものをご準備ください）。

【本体ユニット裏面】



3. 取り付けフックに本体ユニットを取り付ける

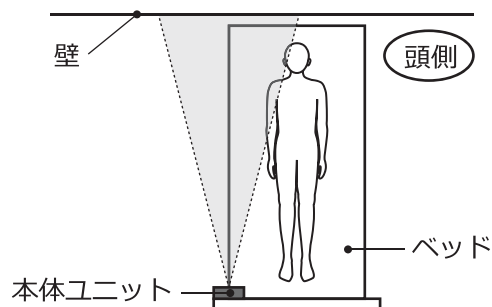
フットボードの取り付けフックと、本体ユニットのフック穴とを合わせ、フック穴にフックを引っ掛けるようにして取り付けてください。



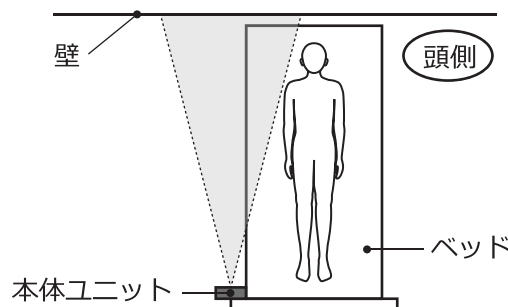
本体ユニットをマットレス寄りに設置すると、早めの離床検知になります（例：端座位で離床検知）。

本体ユニットを外側寄りに設置すると、遅めの離床検知になります（例：立位で離床検知）。

※離床検知の早め、遅めはご使用者様の体型などで変わってきます。



【 マットレス寄りに設置 】



【 外側寄りに設置 】

4. AC アダプタをコンセントに差し込む

AC アダプタをコンセントに差し込んでください。このとき、温度センサーの正面に作業をする人が写り込まないように注意してください。

温度センサーの初期設定が正常に行えず、誤報の原因となります。

AC アダプタをコンセントに差し込むときにご使用者様が寝ていても問題はありません。

⚠ 注意

ベッドの頭側に窓がある環境では使用しない。
誤報で受信機が鳴る可能性があります。



禁 止

本体ユニットを傾けずにまっすぐベッドに固定し、電源を投入する。

本体ユニットでは傾きを計測しています。傾きの正常な検知ができなくなり、誤動作の可能性があります。



注 意

電源投入後、10 秒程度は温度センサー読み取り面に人体が写らないようにし、電源投入後 1 ～ 2 分待機して使用する。

電源投入時に基準温度を計測しています。温度の正常な検知ができなくなり、誤動作の可能性があります。ご使用者様が寝ていても問題はありません。

受信機の設定方法

● 受信機の電源を入れる

受信機左側面の電源スイッチをオンにします。

電源スイッチ
(上：オン、下：オフ)



電源スイッチ：オン



電源スイッチ：オフ

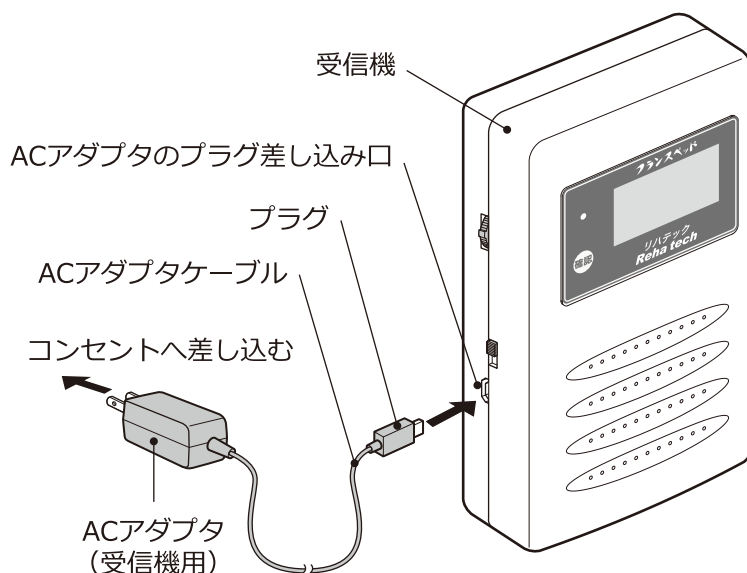
受信機の充電方法

初めてお使いの時は必ず充電をしてください。

受信機の AC アダプタ差し込み口に AC アダプタ（受信機用）のプラグを差し込みます。AC アダプタ（受信機用）をコンセントに差し込みます。通常通り使用できますが、液晶ディスプレイには『充電中』と表示され、充電が開始されます。充電完了時には液晶ディスプレイに『充電完了』と表示されます。より優先順位の高い表示（離床検知、着床、など）が表示される場合があります。

電池残量なしから満充電まで約 5 時間です。

※ 受信機を充電する時は受信機の電源をオンにしてください。



電池残量



80%以上



50%以上



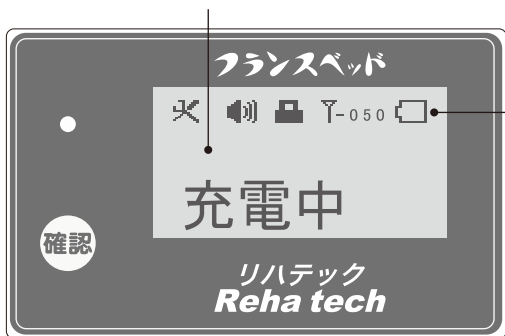
15%以上



残量無し

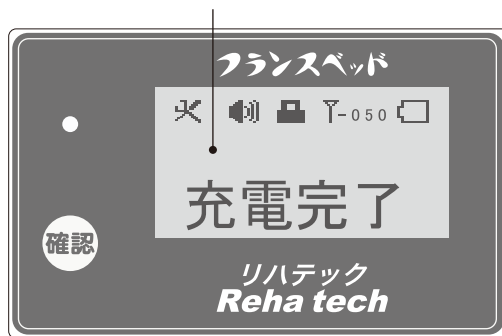
直ちに充電してください

液晶ディスプレイ（充電中と表示）



※ 充電中は
電池残量バー
が消えます。

液晶ディスプレイ（充電完了と表示）



⚠ 注意

プラグは向きに注意し、無理に差し込もうとしたり、差し込んだ状態で力を加えたりしない。
プラグ破損の原因になります。
受信機用と本体ユニット用でプラグ形状が違いますので、間違えないようご注意ください。



注 意

本体ユニットの電源がオフの状態、受信機の充電を行った場合、液晶ディスプレイには『充電中』ではなく『通信不安定』『通信不能』と表示されます。『充電中』より『通信不安定』『通信不能』のメッセージが優先して表示されるため、異常ではありません。

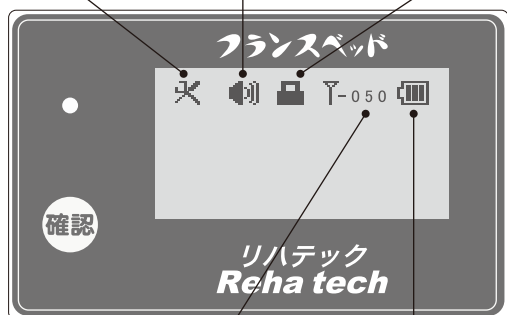
液晶ディスプレイ
(通信不安定または通信不能と表示)



設定項目と設定方法

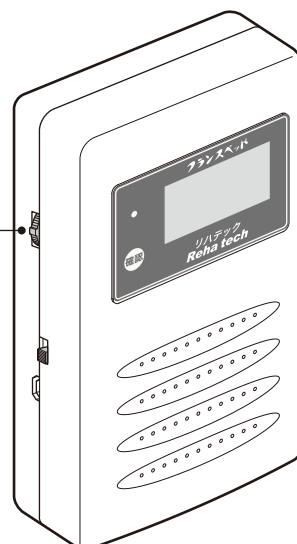
受信機左側面のシャトルスイッチで、各種設定ができます。シャトルスイッチをスライドさせることで項目の選択、シャトルスイッチを押すことで選択・実行の確定を行います。
スピーカー音量およびチャイルドロック以外の設定は設置時のみ、必ず販売員または設置責任者が行ってください。
他の設定を変更すると通信ができなくなる可能性があります。

各種設定 スピーカー音量 チャイルドロック



電波の強さ 電池残量

- シャトルスイッチ
- ◆ 上にスライド
(選択位置が右に移動)
 - ◆ 下にスライド
(選択位置が左に移動)
 - ◆ 押す
(選択・実行の確定)



スピーカー音量の設定方法

シャトルスイッチを上または下に1回スライドさせるとスピーカー音量のアイコンがゆっくり点滅します。次にシャトルスイッチを長押し（3秒程度）するとスピーカー音量のアイコンが早く点滅します。シャトルスイッチをスライドさせるとスピーカー音量を変更することができます。スピーカー音量を決定した後、シャトルスイッチを長押し（3秒程度）するとスピーカー音量のアイコンが再びゆっくり点滅し、設定の変更が確定されます。そのまま約30秒放置するか、確認ボタンを押すことで点滅から点灯に戻ります。



スピーカー音量表示



消音



音量（小）



音量（中）



音量（大）

チャイルドロックの設定方法

シャトルスイッチを上を2回スライドさせるとチャイルドロックのアイコンがゆっくり点滅します。次にシャトルスイッチを長押し（3秒程度）するとチャイルドロックのアイコンが変化します。（解除状態のときはロック状態に、ロック状態のときは解除状態に）そのまま約30秒放置するか、確認ボタンを押すことで点滅から点灯に戻ります。



チャイルドロック表示



ロック状態



解除状態

ロック状態では、次ページ記載の設定項目のうち「MONT」以外を選択できなくなります。工場出荷時は解除状態になっています。

各種設定の方法

※この操作は設置時のみ、必ず販売員または設置責任者が行ってください。

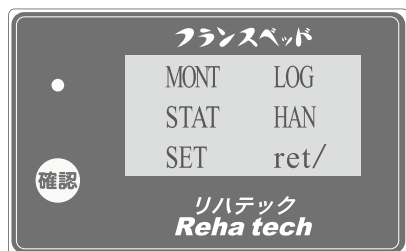


シャトルスイッチを下に2回スライドさせると各種設定のアイコンがゆっくり点滅します。次にシャトルスイッチを押すと、各種設定の選択画面に移ります。

※「認められない操作です」との音声が鳴ります。

設置環境の初期設定時やサービス対応時のみこの操作を行ってください。通常使用時はこの操作は不要です。

設定選択画面では、シャトルスイッチの上下で項目の選択を行い、シャトルスイッチを押すことで決定を行います。以下の6項目を選択することができます。



MONT : 温度センサーモニター
 STAT : 各種ステータス表示
 SET : 各種動作設定
 LOG : 過去の動作履歴の確認
 HAN : 受信機と本体ユニットのペアリング設定
 ret/ : 通常の画面に戻る

※ SET、HAN の選択時はシャトルスイッチを3回押すことで、それぞれの項目画面に入ることができます。

MONT の機能

MONT では、温度センサーの検知状況をモニターすることができます。センサー範囲内の温度の高い場所が黒点で表示されます。MONT 機能を使用時は電池の消耗が早くなりますので、設定時以外は使用しないでください。



本体ユニットの正面に人がいないときに、MONT 機能のモニター上に黒点が表示される場合はベッドの周辺に熱源があると思われます。

ベッド周辺に熱源がある場合は熱源をベッドから遠ざけてください（誤報で受信機が鳴る可能性があります）。

本体ユニットの正面に手をかざした時に、MONT 機能のモニター上の黒点が正しく表示されることを確認してください。

SET の機能

SET では以下の項目を選択することができます。

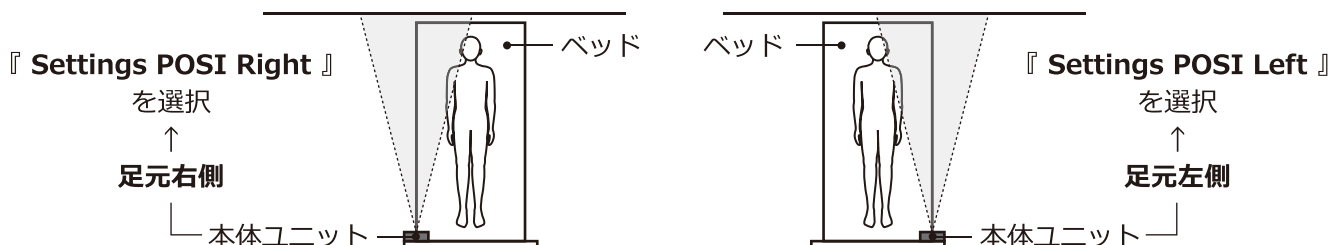
Settings POSI Right / Left	: 本体ユニット設置の左右選択	必ず設定してください。
Settings BKL 0 ~ 10	: 液晶バックライトの明るさ設定	
Settings CON 0 ~ 40	: 液晶文字コントラストの設定	
Settings VOL 0 ~ 3	: 音量の設定	
Settings BGM 1 ~ 8	: 離床検知時の BGM 選択	
Settings TIM 30 / 60 / 90	: 離床検知時の BGM 再生時間設定 (秒)	
Settings HTA ON / OFF	: 高温警告表示の有効無効設定	
Settings with voice / no voice	: 離床通報時の音声出力の有無の設定 (no voice 選択時は BGM のみ流れます。)	工場出荷時の設定でも問題なくご使用いただけます。

設置環境の左右設定

※この操作は設置時のみ、必ず販売員または設置責任者が行ってください。

本体ユニットの設置位置（ご使用者様の右側あるいは左側）に応じて、受信機上で左右設定を行います。

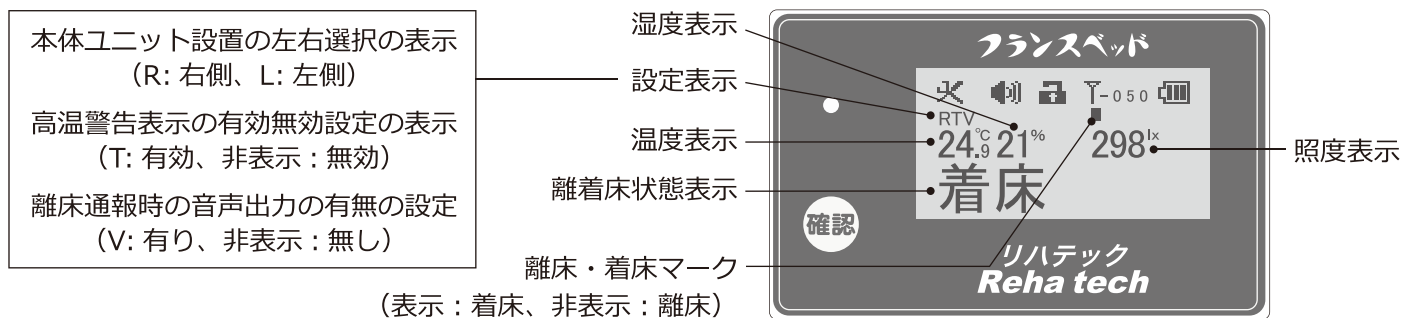
- ① 本体ユニットの電源が入っていることを確認し、受信機の電源をオンにします。
- ② 受信機のシャトルスイッチを下に2回スライドさせます。（各種設定のアイコンがゆっくり点滅します。）
- ③ シャトルスイッチを押し、各種設定の選択画面に移ります。
- ④ シャトルスイッチを下に2回スライドさせます。（SET のアイコンがゆっくり点滅します。）
- ⑤ シャトルスイッチを3回押し、Settings POSI の画面に移ります。
- ⑥ シャトルスイッチをスライドさせ、ご使用者様の右側に設置した場合は Settings POSI Right、左側に設置した場合は Settings POSI Left を選択し、シャトルスイッチを押して決定します。
- ⑦ シャトルスイッチで他の項目（Settings BKL など）も続けて設定します。特に出荷時のまま変更の必要がなければシャトルスイッチを続けて押して項目を進めていき、各種設定の選択画面に戻ります。
- ⑧ ret/ を選択し、シャトルスイッチを押して通常画面（メイン画面）に戻ります。



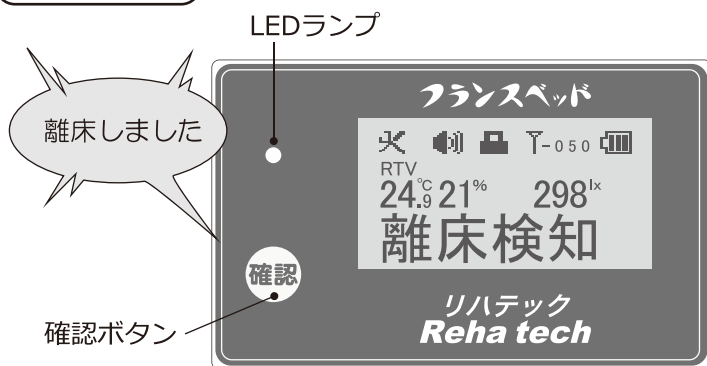
使用方法

使用開始

本体ユニットを正しくベッドに設置し、本体ユニットの AC アダプタをコンセントに差し込み、受信機の電源をオンにしてください。受信機に各状態が表示され、ご使用者様の離床 / 着床に応じて受信機が動作します。

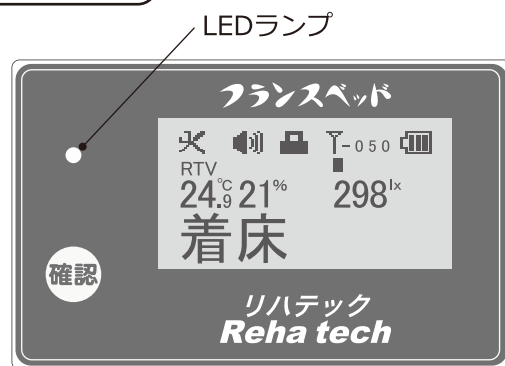


離床時の動作



離床をお知らせする液晶表示、LED ランプ点灯、音声ガイドと BGM が流れます (確認ボタンを押すと消えます)
※ LED ランプ、音声ガイド、BGM は一定時間 (30、60、90 秒の設定があります) 後、自動的に消えます。

着床時の動作



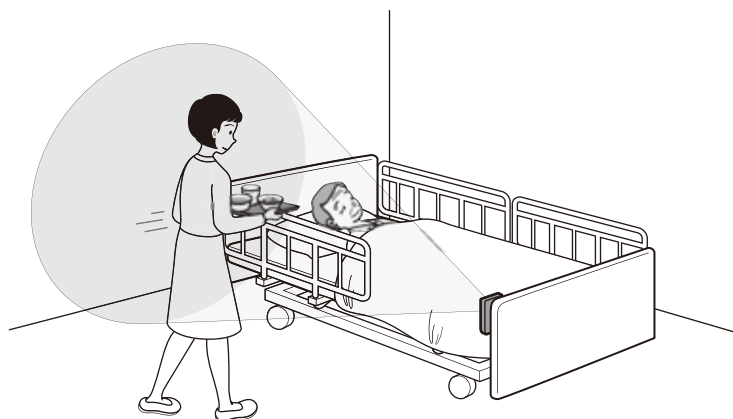
着床を検知すると LED ランプ、音声ガイド、BGM が消え、画面に着床の文字および離床・着床マークが表示されます。

注意点

見守る方が着床中にセンサーの検知範囲で、

- ・ 介助者の方が作業する場合
- ・ 面談者が横にいる場合

などには、離床と着床を繰り返し判定することがあり、警報音が鳴り続ける場合があります。
気になるときは、受信機の電源をオフにしてください。
再度使用を開始する場合は、受信機の電源をオンにすると着床状態から使用開始になります。
(電源を入れ忘れると警報音が鳴らなくなるのでご注意ください)



保管の方法

必ず下記の注意に従って、正しくお手入れしてください。

 注意	上に重い物を載せた状態で保管しない。 故障の原因になります。	 禁 止
	次の場所では保管しない。 ● 暖房器具などの近くで直接高温になる場所 ● 直射日光の長時間当たる場所 ● 振動や衝撃の加わる場所 ● 湿度の高い場所 事故や故障、またはひび割れや変形、変色の原因になります。	

お手入れの方法

必ず下記の注意に従って、正しく保管してください。

● 本体ユニット、受信機のお手入れ

乾いた布で汚れを拭き取ってください。故障の原因になるので、絶対にぬれた布では拭かないでください。

 注意	汚れをふき取るのに、シンナー、ベンジン、アルコール、その他の溶剤や磨き粉などは絶対に使用しない。 ひび割れや変形、変色の原因になります。 	 禁 止
	本製品を廃棄する場合は地域の条例に基づいて廃棄処理する。	 注 意
	受信機にはリチウムイオン電池が使われています。 廃棄する場合は地域の条例に基づいて廃棄処理する。 	Li-ion

定格

本体ユニット

寸法：幅68 × 奥行22 × 高さ120 mm（突起部除く）
 重量：約88g
 消費電力：約5W（最大）

ACアダプタ （本体ユニット用）

寸法：幅27.8 × 高さ47.9 × 厚さ26.5 mm（突起部除く）
 重量：約60g
 入力：AC 100-240V 50/60Hz 0.14A（100Vのとき）
 出力：DC5V 1A
 コード長：約4m

受信機

寸法：幅80 × 奥行29 × 高さ135mm（突起部除く）
 重量：約210g
 使用電源：内蔵リチウムイオン電池
 電池容量：2000mAh
 電波到達距離：400m以上（見通し）
 ※設置状況および周辺環境により到達距離が短くなることがあります。
 （建物の構造や材質により大きく変わります）

ACアダプタ （受信機用）

寸法：幅27.8 × 高さ47.9 × 厚さ26.5 mm（突起部除く）
 重量：約60g
 入力：AC 100-240V 50/60Hz 0.14A（100Vのとき）
 出力：DC5V 1A
 コード長：約1m

液晶ディスプレイのメッセージについて

各ユニットの状態によって、液晶ディスプレイに下記のメッセージが表示されます。

ディスプレイ表示	メッセージの意味・対処方法
充電が必要	受信機の充電電池の残量が少なくなっています。 受信機の充電を行ってください。
充電中	受信機の充電中です。 ※本体ユニットの電源がオフになっている場合は、充電中であっても“通信不能”のメッセージが優先して表示されます。
充電完了	受信機充電が完了しています。 ※本体ユニットの電源がオフになっている場合は、充電中であっても“通信不能”のメッセージが優先して表示されます。
通信不安定	本体ユニットから受信機の距離が離れているため通信が不安定になっています。 受信機を本体ユニットに近づけてください。
通信不能	本体ユニットから受信機の距離が離れているため通信が不能になっています。 受信機を本体ユニットに近づけてください。 本体ユニットの電源がオフになっています。 本体ユニットにACアダプタのプラグを差し込み、ACアダプタをコンセントに差し込んでください。
センサ故障	本体ユニットが故障しています。修理を依頼してください。
センサ傾き	本体ユニットの傾き異常です。 水平な場所に設置しているか確認し、電源を入れ直してください。
大きな外力	本体ユニットに大きな衝撃があったときに表示されます。 確認ボタンを一回押すと通常画面に復帰します。
高温	本体ユニット内の温度計測値が27.5℃以上になると表示されます。 27.5℃以上になると離床判定が難しくなります。

また、次のような症状が起きた場合は、下記の内容をご確認のうえ、なお異常がある場合には直ちに使用を中止し、ACアダプタをコンセントから抜いて、販売店または弊社営業窓口までご連絡ください。

症状	ご確認ください
1.受信機の電源が入らない。	受信機の充電を行ってください。
2.ACアダプタが異常に熱くなる。 3.ACアダプタのコード類にひび割れがある。 4.破損してしまった。	直ちに使用を中止してください。

保証書について

- ◎ 保証書はお買い上げ販売店にて「お届け日、お買い上げ店名」の記入をご依頼ください。
- ◎ 保証書に記入ができない場合は、お届け日、お買い上げ販売店名のわかる書類（納品書や領収書など）と併せて大切に保管してください。

補修用性能部品の保有期間

- ◎ 弊社は本商品の補修用性能部品の、製造打ち切り後6年間保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

- ◎ 修理をご依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、再度ご点検のうえ、なお異常がある場合には『お買い上げの販売店』、または弊社営業所までご連絡ください。

保証期間中は

- ◎ 保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。

保証期間を過ぎてるときは

- ◎ 修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

- ◎ できるだけ詳しくお願いいたします。
 - ①ご住所、ご氏名、電話番号
 - ②型式名、お買い上げ販売店名、お届け日
 - ③故障または異常の内容

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理、お取り扱い、お手入れなどのご相談は、まず、『お買い上げの販売店』へお申し付けください。

- ◎ 弊社は厳格な検査を経て納品いたしておりますが、万一不具合点がございましたら、『お買い上げの販売店』、または弊社『お客様相談室』にお問合わせください。

フリーダイヤル ☎ 0120-39-2824

受付時間：月～金曜日、9～12時、13～17時
(土、日、祝祭日、年末、年始、弊社指定の休日等は除く)

保証書

型 式 非接触型離床センサー RS-18

保証期間 お買い上げ日 年 月 日から1年間

お 客 様 ご住所 〒

ご氏名 様

電話番号

この製品は、厳重なる品質管理及び検査を経てお届けしたものです。

お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、本保証書記載内容によりお買い上げの販売店が受け付け致します。

※ 修理は、お買い上げの販売店に必ず本保証書を提示の上、ご依頼下さい。

※ 本保証書は再発行致しませんので、大切に保管して下さい。

販売店

フランスベッド株式会社

〒196-0022 東京都昭島市中神町1148番地5
TEL 042 (543) 3111 (代表)

保証規定

- 保証期間内に正常なる使用状態において万一故障した場合には、無償修理致します。
お買い上げ日及び販売店名は、納品書又は領収書等で確認させていただきますので、保証書とともに紛失しないよう保管願います。
- 次のような場合には、保証期間内でも有償修理になります。
 - (イ) 使用上の誤まり、不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の転倒、落下等による故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷やその他の天災地変、公害、ガス害、塩害等による故障及び損傷。
 - (ニ) 電源を使用する製品においては、指定電源（日本国内仕様）AC100V 50/60Hz以外での使用や異常電圧による故障及び損傷。
 - (ホ) 一般家庭用以外（例：業務用の長時間使用）に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ヘ) 本保証書のご提示がない場合。
 - (ト) 本保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入が無く、納品書又は領収書等にて必要事項の確認ができなかった場合。
 - (チ) 保証書の記載事項の字句を書き替えられた場合。
 - (リ) 消耗部品の取替え及び点検等の費用。
 - (ヌ) 離島や離島に準ずる遠隔地については、弊社規定に沿った訪問に要する実費を申し受けることがあります。
- 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 法的責任
この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問合わせ下さい。
- 保証の対象
本体及び付属品。但し、消耗部品、縫製部品、別売部品は除く。
- 免責
本製品の故障の放置又はその使用によって生じた、直接、間接の損害についての保証は、一切その責を負いませんので、予めご了承下さい。

修理の記録